

平成24年度決算に係る  
定期監査調書

平成25年6月

東部教育局

目次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調へ	1頁
4	職員の定員、現員調へ	2頁
5	役付職員の調へ	2頁
6	主な事業に関する調へ	3頁
7	収入証紙取扱額調へ	7頁
8	収入事務処理状況調へ	7頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調へ	8頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調へ	8頁
11	不納欠損額調へ	8頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調へ	8頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調へ	8頁
14	財産に関する調へ	8頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調へ	9頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調へ	9頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調へ	9頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車(二輪を除く)の管理状況調へ	9頁
19	寄附物件の受納状況調へ	9頁
20	備品の処分状況調へ	9頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調へ	10頁
22	小中学校等への支援の状況調へ	10頁
○	意見、要望等	10頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該 当 な し

(2) 監査意見

該 当 な し

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該 当 な し

3 組織及び業務調べ

課 名	係(担当)名	課の主な所掌事務
教育委員会事務局 東部教育局	学事担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公印の保管に関する事</li> <li>・職員の身分及び服務に関する事</li> <li>・市町村教育委員会の組織及び運営に関する指導、助言及び情報提供に関する事</li> <li>・市町村立学校の教職員の人事に関する事</li> <li>・教育の調査及び統計に関する事</li> <li>・公立学校共済組合に関する事</li> <li>・教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関する事</li> </ul>
	学校教育担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村立学校の学校運営、教育課程、学習指導及び生徒指導に関する事</li> <li>・市町村立学校の教科用図書及び教材の取扱いに関する事</li> <li>・市町村立の小学校及び中学校の児童及び生徒の就学義務の免除及び猶予に関する事</li> <li>・教育の調査及び統計に関する事</li> <li>・学校保健及び学校給食に関する事</li> <li>・学校体育に関する事</li> <li>・教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関する事</li> </ul>
	社会教育担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育に関する事</li> <li>・生涯学習及び社会教育に関する事</li> <li>・教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関する事</li> </ul>

5 役付職員の調べ

職名	氏名	在職期間	備考
局長	久岡 賀代子	2年 0月	
次長	細川 昭夫	1年 0月	

(平成25年4月1日現在)

4 職員の定員、現員調べ

種別	事務職員		技術職員		現業職員		計	区分	備考
	当該年度現在	24.41年度現在	当該年度現在	24.41年度現在	当該年度現在	24.41年度現在			
定員	13	13	1	1	0	0	14		
現員	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0		
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0		
非常勤職員	1	0	0	0	0	0	1		

(平成25年4月1日現在)

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要	要
<p>教育局運営費 (学校教育)</p> <p>決算額 4,478千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>一般財源 4,478千円</p> <p>○将来ビジョン VI育む (2)「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 IV人財とっとり 2少人数学級の 拡充など学力 向上プログラ ム</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>県内東部地区を管轄し、5の市町教育委員会、81の市町立小中学校、83の幼稚園・保育所に対し、学校・園経営の充実や教員・保育士の資質向上、指導力・授業力の向上等を図るため、指導助言等による支援を行う。また、各市町教育委員会・各学校や園の自主・自立をめざす。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【東部地区幼稚園・保育所、公立学校との連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全小中学校への学校訪問(年2回)や要請訪問等により、学校経営や学習指導の重点事項の周知、学校の取組状況の把握と指導助言、保育所・幼稚園の訪問による指導助言や情報提供を行った。</li> <li>○LD等専門員による巡回訪問(年3回)、要請訪問を実施した。</li> <li>○各市町郡校長会(毎月1回開催)に出席して、学校課題等への対応について、指導助言等を行った。</li> <li>○東部の園長・校長会の代表と「東部教育を語る会」を実施した。公立学校長のみならず県立学校長代表も出席し、保幼小中高特別支援学校の実態の情報を共有することができた。</li> </ul> <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2か月に1回、東部教育局が発行する情報誌「東部通信」で学校の参考となる学校教育の取組事例等を積極的に紹介することにより学校を支援した。また、毎月の校長会では資料を配布し、新しい情報提供を行った。</li> <li>○HPを活用して、各係が学校経営・授業改善、社会教育に関する内容を積極的に発信した。</li> <li>○日々の授業づくりや校内研修の改善・充実のため、ポイント集の平成25年中の作成を目指して検討を行った。</li> </ul> <p>【教職員への研修と啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東部地区を対象とした幼稚園教員・保育士の合同研修会の開催、要請訪問での「元気の出る園内・校内研修の手引き～改訂版～」(東部教育局刊)を活用した指導助言、新学習指導要領実施に向けた説明及び学校の教育課題に対応したワークショップ(管理職対象の危機管理演習・エキスパート教員の活用など)の開催等を行った。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ワークショップ(年18回：特別支援教育相談会を含む) テーマ：授業改善・生徒指導・特別支援教育・家庭地域との連携等</p> </div> <p>【市町教育委員会との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題共有のための市町教育委員会訪問及び東部地区指導主事等連絡協議会を開催した。</li> <li>○東部地区の市町教育長と年2回「東部地区市町教育長会」を実施して、人事・授業改善(少人数学級等)について情報共有し、次年度の取組を協議した。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・市町教育委員会訪問(年2回) ・東部地区指導主事等連絡協議会(年1回)</p> </div>	

事業名	概要																				
	<p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>○学校での危機管理に対応するため、管理職を対象として、迅速な情報収集、適切な判断など危機管理演習を新たに行った。</p> <p>○鳥取県の目指す幼児の姿「遊びきる子ども」の育成に向けて、小中学校課を中心として「鳥取県幼児教育振興プログラム(改訂版)」を作成した。</p> <p>○小学校の学校訪問において、幼・保からの接続を意識した「スタートカリキュラム」の作成・見直しを促した。</p> <p>○県の事業を踏まえ、年間通して中学校区に重点を置いて、各校の研究推進・授業改善に積極的に取り組んだ。</p> <p>○市町教育委員会や校種間の連携を図るため、「東部地区市町教育長会」並びに「東部教育を語る会」を新たに開催した。</p> <p>ウ 成果</p> <p>○中学校区を中心とした校種間連携による取組の重要性が各校で認識され、生徒指導・授業改善・特別支援教育・幼児教育において、学校や園での連携した取組の効果が徐々に上がってきている。</p> <p>【学校教育実施状況調査(抜粋)】</p> <table border="1" data-bbox="148 1169 1080 1292"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H23(A)</th> <th>H24(B)</th> <th>(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校種を越えた連携の実施率</td> <td>95%</td> <td>100%</td> <td>+5%</td> </tr> <tr> <td>接続期のカリキュラム作成率</td> <td>35%</td> <td>65%</td> <td>+30%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○各市町教育委員会と連携して、園・学校への指導・支援を行い、学び意欲の向上、言語活動の充実・学習評価の推進、不登校問題など共通の重点課題解決ができてきている。</p> <p>【生徒指導月例報告集計(抜粋：中学校3月現在)】</p> <table border="1" data-bbox="175 891 1023 974"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H23(A)</th> <th>H24(B)</th> <th>(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校生徒の出現率</td> <td>3.19%</td> <td>2.73%</td> <td>△0.46%</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 課題</p> <p>○中学校における新学習指導要領の趣旨を生かした授業づくり、校内研究の推進をさらに図る必要がある。</p> <p>○不登校問題の解決に向けて、中学校区での共通の取組や保小中の具体的連携の工夫を進める必要がある。</p> <p>○幼保小中高の校種間連携の中で、特に幼保・小の連携を進め、プログラムを活用するなどカリキュラム等の面からも充実させ、取組を広げていく必要がある。</p>	項目	H23(A)	H24(B)	(B)-(A)	校種を越えた連携の実施率	95%	100%	+5%	接続期のカリキュラム作成率	35%	65%	+30%	項目	H23(A)	H24(B)	(B)-(A)	不登校生徒の出現率	3.19%	2.73%	△0.46%
項目	H23(A)	H24(B)	(B)-(A)																		
校種を越えた連携の実施率	95%	100%	+5%																		
接続期のカリキュラム作成率	35%	65%	+30%																		
項目	H23(A)	H24(B)	(B)-(A)																		
不登校生徒の出現率	3.19%	2.73%	△0.46%																		

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>教育局運営費 (社会教育)</p> <p>決算額 4,478千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 4,478千円</p> <p>○将来ビジョン VI育む (2)「人財・鳥取」の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 社会全体(学校・地域社会・企業・行政等)で取り組む教育の推進及び教育の原点である家庭教育の充実を図るため、各市町教育委員会や関係団体(PTA協議会等)との連携を図るとともに支援を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【市町教育委員会との連携】 県社会教育協議会主催の東部地区社会教育関係者研修会を市町の社会教育担当者と連携しながら開催した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開催日 平成24年6月27日(水) 13:30~16:30</p> <p>会場 東部総合事務所講堂</p> <p>内容 講義 「これからの公民館の役割」 講師 倉吉市成徳公民館 館長 小谷次雄 主事 赤本亮子</p> <p>グループ演習 「とっとり子育て親育ちプログラム」体験 講師 県教育委員会事務局家庭・地域教育課 係長 松本洋介 参加者数 54名</p> </div> <p>【県PTA協議会への支援】 県PTA協議会が主催するPTA指導者研修(東部地区)の運営に係る支援をした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開催日 平成24年6月10日(日) 9:30~12:00</p> <p>会場 県民ふれあい会館</p> <p>内容 全体会 主催者あいさつ、施策説明 分科会 PTA活動推進分科会他3分科会</p> </div> <p>【教職員への支援(学校支援)】 学校と保護者の連携の機会である保護者会を効果的に運営するため、運営に係るワークショップを開催した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開催日 8月7日(火) 14:30~16:30</p> <p>会場 県民ふれあい会館</p> <p>内容 「参加型保護者会を学ぼう」 参加者25名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>開催日 11月9日(金) 15:30~16:15</p> <p>会場 美和小学校</p> <p>内容 「お手伝いのススメ」 参加者44名</p> </div>

事業名	概要																																																						
	<p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>○社会教育における学校支援として、より良い保護者会のやり方のワークショップを継続するとともに、鳥取市校長会と連携して、子どもの生活習慣の定着を目指した「お手伝いの又スメ」の研修会を実施した。</p> <p>○地域で学校を支える「学校支援ボランティア事業」を推進するため、特色ある取組を行っている学校を訪問し、その成果を未実施の学校に広めた。</p> <p>ウ 成果</p> <p>【東部地区社会教育関係者研修会アンケート（回答者32名）】</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>はい</td> <td>どちらでもない</td> <td>いいえ</td> <td>未回答</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>講義は良かった</td> <td>29</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>演習は良かった</td> <td>30</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>か</td> <td>94%</td> <td>6%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>アンケートの記述の中に、「事業におけるタイムルのつけ方」「公民間事業の目的（学びの場の提供）」「地域と学校との連携」など、今後の参考に なるという声が多くあり、開催の成果が見られた。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンケートの記述の中に、「アスレイクやグループなど、話しや すい雰囲気作りの大切さが理解できた」「保護者会の考え方が変わった」「保 護者の日常の悩みに寄り添えるような話し合いのテーマを考えたい」など、 前向きな意見が多くあり、開催の成果が見られた。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【ワークショップアンケート】 評価 3.5（4段階）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>子どもの学力、体力などに関連のある基本的な生活習慣の定着に向けて、保 護者の理解と協力が必要であるため、県PTA協議会と連携したワークシ ョップの開催など家庭教育充実に向けた取組を検討する必要がある。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○学校と保護者の連携をより強化するため、教員を対象としたワークショップ を開催しているが、参加者が少ない状況であるため、開催時期や研修内 容など検討する必要がある。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	区分	はい	どちらでもない	いいえ	未回答	計	講義は良かった	29	2	0	1	32	演習は良かった	30	2	0	0	32	か	94%	6%	0%	0%	100	アンケートの記述の中に、「事業におけるタイムルのつけ方」「公民間事業の目的（学びの場の提供）」「地域と学校との連携」など、今後の参考に なるという声が多くあり、開催の成果が見られた。						アンケートの記述の中に、「アスレイクやグループなど、話しや すい雰囲気作りの大切さが理解できた」「保護者会の考え方が変わった」「保 護者の日常の悩みに寄り添えるような話し合いのテーマを考えたい」など、 前向きな意見が多くあり、開催の成果が見られた。						【ワークショップアンケート】 評価 3.5（4段階）						子どもの学力、体力などに関連のある基本的な生活習慣の定着に向けて、保 護者の理解と協力が必要であるため、県PTA協議会と連携したワークシ ョップの開催など家庭教育充実に向けた取組を検討する必要がある。						○学校と保護者の連携をより強化するため、教員を対象としたワークショップ を開催しているが、参加者が少ない状況であるため、開催時期や研修内 容など検討する必要がある。					
区分	はい	どちらでもない	いいえ	未回答	計																																																		
講義は良かった	29	2	0	1	32																																																		
演習は良かった	30	2	0	0	32																																																		
か	94%	6%	0%	0%	100																																																		
アンケートの記述の中に、「事業におけるタイムルのつけ方」「公民間事業の目的（学びの場の提供）」「地域と学校との連携」など、今後の参考に なるという声が多くあり、開催の成果が見られた。																																																							
アンケートの記述の中に、「アスレイクやグループなど、話しや すい雰囲気作りの大切さが理解できた」「保護者会の考え方が変わった」「保 護者の日常の悩みに寄り添えるような話し合いのテーマを考えたい」など、 前向きな意見が多くあり、開催の成果が見られた。																																																							
【ワークショップアンケート】 評価 3.5（4段階）																																																							
子どもの学力、体力などに関連のある基本的な生活習慣の定着に向けて、保 護者の理解と協力が必要であるため、県PTA協議会と連携したワークシ ョップの開催など家庭教育充実に向けた取組を検討する必要がある。																																																							
○学校と保護者の連携をより強化するため、教員を対象としたワークショップ を開催しているが、参加者が少ない状況であるため、開催時期や研修内 容など検討する必要がある。																																																							



7 収入証紙取扱額調べ

該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金  
該当なし

(2) 使用料  
該当なし

(3) 手数料  
該当なし

(4) 財産収入  
該当なし

(5) 諸収入

(平成25年3月31日現在)

(単位：円)

目	収入科		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	目							
雑入	雑入	非常勤講師 雇用保険料	644	489,928	489,928	0	0		
	目計		644	489,928	489,928	0	0		
	合計		644	489,928	489,928	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況  
該当なし

イ つり銭の状況  
該当なし

9 収入未済額調へ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調へ

該当なし

11 不納欠損額調へ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調へ

該当なし

13 工事請負費調へ

該当なし

14 財産に関する調へ

(1) 公有財産

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

イ タクシーチケットの受払状況  
該当なし

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 13,970	円 21,970	円 11,500	円 10,470	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスリパークカード	0	0	0	0	
合計	13,970	21,970	11,500	10,470	

(平成25年3月31日現在)

(3) 債 権

該 当 な し

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

該 当 な し

16 借受不動産明細調べ

該 当 な し

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

該 当 な し

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該 当 な し

19 寄附物件の受納状況調べ

該 当 な し

20 備品の処分状況調べ

(平成25年3月31日現在)

品 名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不 用 決 定 年 月 日	不 用 と する 理 由	処 分				備 考
							売払 棄却 の別	売払方法・ 棄却理由	処 分 年 月 日	売払額・ 処分費用	
デジタルカメラ	1	(H16. 4. 1) H14. 3. 26	年 5	円 61,950	H25. 2. 22	使用不 能	売払 棄却	売り払うこと ができない	H25. 2. 22	円 0	
CDMDシス テム	1	(H16. 10. 26) H13. 10. 11	5	42,000	H25. 2. 22	使用不 能	売払 棄却	売り払うこと ができない	H25. 2. 22	0	
合 計	2			103,950						0	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該 当 な し

2.2 小中学校等への支援の状況調査

(平成25年3月31日現在)

(単位：回)

月別	保育所		幼稚園		小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		合計
	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	
4月	0	3	0	13	0	9	0	0	0	0	0	0	25
5月	0	5	0	47	0	24	0	0	0	0	0	0	76
6月	0	5	0	82	0	38	0	0	0	0	1	0	126
7月	0	17	0	39	0	15	0	0	0	0	3	0	74
8月	0	12	0	11	0	3	0	0	0	0	0	0	26
9月	0	3	0	26	0	5	0	0	2	0	0	0	36
10月	0	10	0	51	0	35	0	0	0	0	0	0	96
11月	0	9	0	43	0	24	0	0	0	0	0	0	76
12月	0	6	0	32	0	15	0	0	0	0	0	0	53
1月	0	3	0	16	0	42	0	0	0	0	0	0	61
2月	0	0	0	17	0	7	0	0	0	0	0	0	24
3月	0	0	0	16	0	7	0	0	0	0	0	0	23
計	0	73	0	393	0	224	0	0	2	0	4	0	696

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見、要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし